



第198号
発行所 上高井教育会
発行人 上高井教育会理事長 宮入 英俊
編集人 会報編集委員長 朝間 春子
印刷所 須坂新聞社

内なるものを確かにし、具体的な教育実践を

理事長 宮入 英俊

本年度の教育会理事長を務めさせていただくことになりました。会員の皆様のご支援ご協力をいただきながら精一杯努めて参りたいと存じます。よろしくお願いいたします。

主体的な受け止め

学校完全週五日制のもと、ゆとりある教育活動を展開して子どもたちに生きる力をはぐくむことを基本理念とした新しい教育課程が実施され二年目を迎えます。特色ある学校づくりを着実に進め、新しい教育課程の趣旨が教育活動や子どもたちの学びの姿に具現され、自校にふさわしい創意ある教育課程が確立されていく年であると考えます。一方、絶対評価、学校自己評価十年目経験者研修、指導力不足教員への対応等の教育改革や教師の資質の向上に関する施策が進められています。今まで以上に学校の存在や教師の力量が問われています。

信濃教育会会長の牛越先生は「教師個々の謙虚な自己点

検が内からの改革の発表、手弁当で自ら求めて資質の向上、される評価から求める評価へ」等、内からの主体的な教育改革の重要さを私たちに問いかけられてきました。

私たちは、教育改革を受け身的な姿勢でなく、子どもたちのために教育実践者としての主体性を発揮し、真の教育改革になるよう日々の確かな教育実践と会員相互の自発的な研鑽の交流により、学校教育への信頼の回復を図ることが大切であると思えます。

自校の教育課程の編成

研究委員会の研究は、会員の主体的な教科研究や教育実践によって支えられ、そこで生じた疑問や課題、実践を持ち寄って話し合うことにより深め高められます。

全会員が参加する研究委員会では、研究テーマ「新しい自分に気づき、生きる力を育むカリキュラムの創造」を掲げ、中心講師としてカリキュラムを専門とされる筑波大

学教授田中統治先生からご指導を受け二年目を迎えます。本年度は、七月に東中学校で数学、十一月に旭ヶ丘小学校で特別活動の授業を通してご指導をしていただきます。

各研究委員会が研究テーマについて共通理解をして研究を進めることを願い、五月に研究委員長会を設け、田中統治先生に研究テーマと各研究委員会のテーマの関係、カリキュラムの編成、授業の構想等について具体的にご指導していただきました。各研究委員会ではご指導をしていただいたことを基に、研究についてお互いに考えや意見を出しあつて理解を深め、研究を進めてほしいと思えます。

会員一人ひとりが、田中統治先生の講演で学んだことを基に具体的な実践をし、その成果や課題等を持ち寄り、理解を深め、自校の特色あるカリキュラムの編成に向けた有意義な研究委員会にしたいものです。一人ひとりの教師の、

各校の先生方の力を合わせた創造と独創、たゆみない工夫と苦心の歩みによって編成されたカリキュラムがその学校の財産として蓄積され、学校に根付いていくことが、特色ある学校創りになっていくと思えます。地域性や児童生徒の実態を考慮した特色ある学校、創意あるカリキュラムを創りあげていく研究の機会であると考えます。

自発的研修を基調に

同好会は、志を同じくする会員の自発的、継続的な活動によって研鑽を積む場です。共通の悩みや課題について共に知恵を出し考え合ったり、切磋琢磨の後に思考の高まりを共に喜び合うことは、実質的にも精神的にも明日の教育実践につながる基になります。上高井のミニ夏期大学を志向して同好会を集中開催してきました。今年は八月一日を中心に夏期講座として開催します。教育改革が進むなか、教科指導はもちろん、多様な教育課題に対応できる見識と実践力が求められています。

また、本年度子ども本研究会と総合的な学習を考える会の二つの同好会が新たに発足しました。趣旨を前向きにとらえ、会員と共に研鑽を積もうとされている先生方がおられることを嬉しく思います。信州教育を築き支えてきた先輩諸氏は、教科の専門性や人間としての内面を高めるた

めに自発的研修を大切にしてきました。自己研修の場としての同好会に積極的に参加し、相互に磨き合い教師の内を深く耕すことを願っております。積極的に参加・参画を研究委員会と同好会の活動が有機的な関係を保つことにより、教育についての見方や考え方が磨かれ、哲学のある教育実践に深まっています。そして、自ら求めて研鑽に励む姿や活動が評価され、信頼につながっていくと考えます。上高井教育会では、総会、講演会に良き師を招聘し教師自

ら修養に努め、研究委員会では、中心講師に継続してご指導いただき教師の力量を高めてきました。また、同好会を中心に身近な同僚や先輩、良き師との学び合いを通して自己の人間形成を図ってきました。この精神をしつかりと受け継ぎ、今進められている教育改革や施策を主体的に受けとめ、積極的に本会の事業に参加・参画し、職能の向上に向けて、着実に歩んでいこうではありませんか。(井上小)

上高井教育会では、総会、講演会に良き師を招聘し教師自

教育会だより

- 4.1 選挙公示(役員選挙)
4.4 第1回代議員会 第2回選挙管理委員会
4.4 理事長選挙 第3回選挙管理委員会
4.6 第4回選挙管理委員会
4.8 第2回代議員会
4.10 副理事長・理事・信教常任委員・信教代議員選挙
4.11 第1回理事会
4.11 教育会会計監査会
4.17 第3回理事会
4.22 第2回代表者会 初任者会員歓迎会(初任者会員七名)
4.22 研究総委員会・同好会発足(於 須坂小学校)
4.30 研究委員会・同好会世話係・委員長・会長会
5.1 郡研究推進委員会
5.5 教育会定期総会・講演会(於 須坂市文化会館)
5.9 平成14年度会務報告並びに決算
5.13 平成15年度事業計画並びに予算の承認
5.17 会員意見発表 有坂昌彦 教諭(小山小学校)
5.19 「フナハ日本人学校での体験から学んだこと」
講演「カリキュラム評価による学校改善の進め方について」
演題「カリキュラム評価による学校改善の進め方について」
講師 田中統治先生(筑波大学教授)
5.24 信濃教育会研究所発表会(於 東中学校)
5.27 那研究推進委員会②
5.27 那研究推進委員会③
5.27 那研究推進委員会④
5.27 那研究推進委員会⑤
6.7 本会から28名参加
6.11 第3回理事会
6.17 第4回代議員会
6.22 郡公開研究会
6.24 田中統治先生ご指導 算数数学研究委員会(於 東中学校)
6.24 上高井教育会会報第198号発行
7.7 各種同好会の夏期講習会開催
7.22 8.18

学校改善に向けてカリキュラム評価を

研究委員会会長 鈴木 紘一

上高井教育会研究委員会では、昨年度より筑波大学教授田中統治先生を中心講師にお迎えして「新しい自分に気づき「生きる力」を育むカリキュラムの創造」をテーマに研究を進めてきました。

テーマのねらいには、基礎的・基本的な力を身につけること、主体的に問題を解決していきける資質・能力づくり、共に生きていこうとする心を育むためのカリキュラムづくりが求められています。

そのため、各学校では学校のもつ地域性や社会性、児童・生徒の実態をとらえたカリキュラムづくりやカリキュラムセンターの立ち上げが重要なことと指摘をいただきました。

特に、P（計画）―D（実践）―S（評価）ではなく、S（実態把握）―P―Dからカリキュラムづくりが始まる実践されるカリキュラムづくりでは、子ども達の現状、学習状況をどうとらえるか、幅広い視点で多面的にとらえることが必要になること。また、それが授業の展開にどう生かされるか、時間の組み方や学習環境等に影響しあうことも指導側で配慮しなければいけなくなる。

個々の児童・生徒の内実（ライフスタイル等）や学習状況をどのくらい把握できるかにより、授業での個の質的变化をとらえることになる等のご

指導をいただきました。こう考えてくると従来の授業研究とどこが違うのかという疑問が出てきます。統計的な方法や観察法で、従来の子どもの把握は行われてきたし評価もされてきたからです。カリキュラムの全体を田中先生は四点あげられました。

①学習指導要領

②年間指導計画

③実践されたカリキュラム

④経験されたカリキュラム

従来はどちらかというと③あたりまでで、しかも授業研究を中心に行われてきたと思われま。次の④の経験カリキュラムのところがポイントになると考えられます。

③は指導者として、ねらいや評価項目、時間数や手立て等展開を意図的に仕組む部分が多いところ。④は実践したところから、児童・生徒とのズレや学習者の受けとめはどうか、意図通りに学んでいるか、予想に反した出があるか、失敗だと思われるところは等々、学習者の側から検討されます。この①④が足跡カリキュラムと呼ばれる部分になります。一つの単元でもかなりの分量になるだろうし、カリキュラム評価までとすると時間もかかると思われま。

今年度、研究企画委員会では研究を郡全体に授業公開する教科と委員会内授業の教科

とほぼ半々にし、できるだけ他教科の授業にも参加できる体制で始まりまし。中心講師の先生に指導していただく教科は算数・数学（東中学校）特別活動（旭ヶ丘小学校）です。

郡の研究テーマを委員会での主体的に受けとめ、各委員会の研究に生かされるよう公開校の研究に積極的に参加して欲しいと思いま。

（高甫小）



本校の中核活動

地域に根ざした教育活動

高山中学校

「おはよう」「おはようございます」 毎月五のつく日の朝、地域の方と共に、生活委員や部活動部長が中心となつて校外で明るい挨拶を交わす。これは平成十三年に行なわれた「中学生議会」で、村議会に提言して制定された挨拶の日の活動である。地域を学ぶ総合的な学習や地域での生徒会の活動を通して、村内における人との交流の大切さを学んだことにより、その提言は行なわれたと言える。

この「中学生議会」とは、本校の体育館に村議会の場を移し、総合的な学習で学んだ

平成15年度 県外視察者 上高井教育会(敬称略)

学校名	氏名	視察目的	視察方面	実施期間
栗ガ丘小	奥原 京一	筑波大付属小学校研究会	東京	2月頃
高山小	松澤 裕子	カウンセリング・児童理解	東京方面	未定
高山小	柳澤 和彦	道徳教育の指導のあり方、子どもの実態と題材	近県	1学期
小山小	宮崎 和代	歌唱指導法と評価のあり方	関東方面	9~11月
森上小	鶴田 恵市	特殊教育充実のために	関東方面	2学期
豊洲小	中島 洋	社会科の授業研究	東京	2学期
日野小	竹内ゆかり	TTの取り組みについて	関東(中京)	2学期(11月)
日野小	越 修一	人権同和教育全国大会、今後の人権教育の方向	九州(福岡県)	11月28~29日
井上小	加藤 敦子	図書館運営について	未定	未定
井上小	米山 修一	情報教育について	未定	未定
高甫小	酒井 啓喜	めあて学習をもとにしたボール運動	秋田県	7月31日
高甫小	宮崎 秀文	個に迫る教育研究	富山(堀川小)	1月
高甫小	宮坂ゆかり	全国国語学会参加	東京(青山学院大)	8月12~13日
旭ヶ丘小	北沢 秀忠	特別活動の授業研究	関東方面	9月
仁礼小	池内 博	「個と追究」について	富山(堀川小)	5月29日
相森中	新井 孝之	生徒指導について	関東方面	2学期
相森中	北垣内 博	部活動と地域総合型スポーツクラブの関係	愛知県	2学期
墨坂中	小山 聖子	朝の読書の教育的効果について	大阪(未定)	6月29日(未定)
墨坂中	宮下 正己	生きる力への橋渡しを(図工・美術)	静岡県	8月5日
東中	北村 雅	指導と評価について、基礎基本と学力向上について	東京方面	7月29~30日

本校の総合的な学習のテーマは「故郷高山村とわたし」である。

一年生では、林業・農業・観光・福祉などのコースに分かれ、体験学習を進めている。ここでは、地域の方をゲストティーチャーとしてお迎えしたり、施設を訪問したりして、産業や技術、交流を学んでいる。二年生では職場体験学習を中心にし、昨年の職場訪問を発展させ、産業観光課のバックアップを得ながら、地域の旅館・ホテルにおいて、一回目の職場体験を行なった。勤労観や職業観を学ぶと共に、観光産業の大切さを肌で感じる学習が実施でき、前進しつつある。三年生では、人生設計を考える学習を進め、地域の方を講師としてお招きし、進路講話を行なう予定でもい

る。地域を教材として位置づけ、地域の人材の助けを借りながら、地域に生きる・地域で生きていることを基盤にした学習をしている。

また、行事として昨年度で菅平高原で行なってきたキャンプを、村内の山田牧場で行なうことにした。これは、地域をより自分に近づけ、地元の見え方と観光産業に新たな方向性を見出すことを期待しているものである。

子どもたちは中学校を卒業して環境が変わると、村から離れがちになる傾向があると聞く。この高山村の良さを胸を張って語る事ができる、そして高山村で育ったことを誇りとする事ができる資質を、地域に根ざした学習を通して育てていきたいと考えている。(井口正敏)

更なる資質向上のために

同好会会長 成田 茂

同好会の会長を仰せつかりました。今年一年間、会員の皆様方のご協力のもとに、教育会の目的の一つであります会員の資質向上のために努力したいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

「初任研拠点校方式」や「英語教員研修」「十年経験者研修」「高校選抜方法の改善」「指導力不足等教員への対応」「学校自己評価」「信州こまやか教育プラン」等、現在、教育を取り巻く社会の中でもいろいろな改革が行われたり、新しい制度導入が図られたりして、教員にとっても厳し

い状況になってきています。こういう時こそ、教員が主体的に自分の問題として捉え、進んで自分の専門性を更に深め、広く教養を高める努力をして資質向上に努め、毎日の授業の改善を図ることに、子ども一人一人に生きる力を確実につけていくことが必要となります。

上高井教育会では、このような課題解決のために多くの予算を同好会関係に計上し、会員の資質向上を図ることによって、上高井教育の発展充実を願っています。今年度は会員の皆様方の熱意によりま

理科同好会

理科同好会会長 竹内 猛

理科同好会は、主に教材開発のための力を培う活動を行っています。授業研究は、理科委員会が主にしています。このようにできるのも理科委員会と同好会のメンバーがほとんど同じだからということもあります。また、信州理科教育研究会という組織があり、教材開発と授業研究の両方を行っています。同好会員の多くがこの組織にも加入しています。昨年度、信州理科教育研

究会上高井大会がひらかれ、上高井教育会、理科委員会、理科同好会を結集してこの大会に取り組みました。信州理科教育研究会も同好会ということもあり、来年度から上高井理科同好会会長は、信州理科教育研究会の会員になるようにしたいと思っております。

さて、本年度の活動ですが、六月二十八日に千曲川河川敷で前東中学校長の市川武彦先生を講師にお願いして探鳥会

して、「上高井の総合的な学習を考える会」と「子どもの本研究会」の二つが新しく加わり、十七の同好会が成立しており、先生方の研修の場が広がったことはよかったですと思っています。そして、全員の先生方が、どこかの同好会に所属し、参加することによって教育会の活性化を図っていただきたいと思っております。

また、夏休み中の七月三十日から八月一日までの三日間の講演会や講習会が今年もいくつかの同好会で計画を進められております。昨年度も一部集中することはできませんでしたが、大部分の同好会が講演会や講習会を行っていた

だけ、多くの教育会員や市民の方の参加を得て実施されており、参加者からは「そ

ろ、夏休み中の七月三十日から八月一日までの三日間の講演会や講習会が今年もいくつかの同好会で計画を進められております。昨年度も一部集中することはできませんでしたが、大部分の同好会が講演会や講習会を行っていた

だけ、多くの教育会員や市民の方の参加を得て実施されており、参加者からは「そ

ろ、夏休み中の七月三十日から八月一日までの三日間の講演会や講習会が今年もいくつかの同好会で計画を進められております。昨年度も一部集中することはできませんでしたが、大部分の同好会が講演会や講習会を行っていた

だけ、多くの教育会員や市民の方の参加を得て実施されており、参加者からは「そ

の同好会の会員ではなかったけれど、講演会や講習会に参加して大変ためになった」とか「毎日の授業に役に立ちそうなことを教えていただいたよかったです」という声も聞かれ大変好評でした。

今年度も、各同好会では世話係や会長の先生方、役員を中心にして、大勢の先生方が参加できるような企画を立案していただき、その講演会や講習会への参加のPRをして

いただければありがたいと思います。そして、夏期休業中の研修の機会として大勢の先生方の参加をいただき、教員としての力量を高めていただければ幸いに存じます。

尚、今年度は技術・家庭と算数・数学の同好会が北信地区の研究会の会場を引き受けています。(高山小)

ばと思っております。現在のところ考えていることはこれくらいですが同好会員の要望で計画はいくつらでも変更することがあります。

悩みは、毎日の忙しさのせいか参加人数が少ないことと、多くの方が参加することです。同好会員以外の方の参加も大いに歓迎しますので参加してみてください。(墨坂中)

ばと思っております。現在のところ考えていることはこれくらいですが同好会員の要望で計画はいくつらでも変更することがあります。



高山小 北澤 晃

本校の宝④ 「栃の木」

本校の南側に回ると、ひときわ大きな木が目飛び込んできます。道行く人が思わず立ち止まって見上げてしまう木、それが本校の宝、栃の木です。

この栃の木は大きい故に宝というだけではなく、学校そして、子どもと共に大きくなってきたという歴史故に本校の宝といふべき木です。

昭和二十八年及び昭和五十七年の校舎新築を経て校舎の位置や外観が全く変わってしまった

にもかかわらず、栃の木は同じ場所に同じような大きさでそり立っているため、年代に関係なく卒業生の心のよりどころとなっているようです。

百年史等で調べてみると、どうも明治十四年に現在の場所に植樹したのではないかと一文が記載されています。

また、本校の校章は栃の木の葉を圖案化し、中央に小山の文字が入っています。この校章が作られたのは、昭和三十年で、本校の卒業生で当時高橋生(旧姓青木) 敬子さんの作品です。その西山さんが圖案化するにあたって次のように述べています。

「小学校といえはますおもしろいだけれども、厳しかつたけれども慈愛に満ちた先生方、鏡のごとく磨き上げられた廊下、それから校門の近くにデンと構えている老木大木の栃の木。その中で延べ何万人もの子ども達を雨の日も風の

小山小学校

日も見守ってくれている栃の木を校章として使うことに、私は何のためらいもなかった。」

さらに、平成九年に当時の音楽クラブの児童が、「みんなの栃の木」という歌を作詞・作曲しました。次のような歌詞です。

とちの木は 大きいな わたしたちを やさしく 見守ってくれている 大切な 小山のシンボル 何十年も前から 力強く 生きている とちの木よ

(二番省略)

この歌は第二校歌として、今も事あるごとに歌い継がれています。



なお、本校の学校教育目標は、「栃の木のように深く根を張り、幹太く、枝葉ゆたかな人(子)です。」

全ての教室の窓から、みどりの風にそよぐ栃の木の雄姿が見られます。今日も子ども達の健やかな成長を見守っているようです。

(宮下 芳和)

火ばら 談義



高山小 北澤 晃

読書意欲の持続

田中 尚子

豊洲小学校では昨年より子どもたちの読書意欲を喚起させていく一つとして『読書マラソン』を行っている。

昨年度は読書マラソン専用のカードを作り、子どもたちの読書の歩みを日本地図の中に、表してきた。最終地点を沖繩とした所三十九番目の神戸が三名となつて大いに盛り上がりつつあった。この試みには朝読書の影響が大きい。学級の計画でドリルや読書に励んでいる。他に集会などのない日に時間を調整して読書をしている学級もある。開館十分前には朝読書に読む本などの貸し出しをする子どもが多く見られる。また、読書を進める上での委員会活動として児童による紙芝居を行ってきた。主に、低学年の子どもたちが見にくる紙芝居は、委員会の活動の一環として児童が市立図書館に借りに行く。子どもたちが選んだ紙芝居なので、読む方にも力が入っている。しかし、活字の少ない本を好んだりする傾向はある。その為、各学級での指導では、読み聞かせや紙芝居を行っている。係もパネルシアターで動機づけをしている。

今年度の読書マラソンは、全校が参加するように普段の

読書カードの横に金のシールを貼っている。シールがほしくて読むという子どもも多いのだが朝読書で読み終えたと次の本を読みたい子がいるので、一日一人三冊までは読み終えたら借りてもよいこととした。低学年にその傾向があるが読書意欲を持続させていく為には三冊まで借りてもよいとしている。また、昨年度の各学年で朝読書に取り組んだ内容の上に立つて今年度はそれぞれの学級で工夫が見られる。

(豊洲小)

ドッジボールに思う

竹前 金三

クラスでは、四年生の時からドッジボールに取り組んできている。日滝小ではドッジボールが盛んで、子どもたちは四年生になればドッジボールをやるものと考えていたところがあつた。クラスで相談すると、全員でやるうということになった。

十二人で戦うドッジボールでは、男子十四名・女子十三名のクラスの人数はぎりぎりである。ドッジボールが得意な子ども苦手な子ども、一緒になって行ふ必要がある。クラス替えがあつ

小布施中学校へ赴任して

北川原理恵

私はこの四月に、木曽郡の大桑中学校から、小布施中学校へ赴任して参りました。小布施町は、今までも何度か訪れたことがあり、私にとつて、とても良い印象のある町でした。木曽の大桑村も、とても人々が温かい村で素晴らしいところだったので、また、小布施町には違った良さがあります。

小布施町は観光に力を入れているということで、町全体が大変美しく整備されています。この小布施町に赴任が決まった時は、とてもうれしかったです。土日にかかわらず、平日でも観光客がたくさん来る小布施町には、素晴らしい観光スポットがたくさんあり

たばかりのクラスなので、みんなが助け合いながら、一つにまとまっていってくればと考えた。また、一生懸命練習した後の勝利の喜びと敗戦の悔しさの感動を味わってもらいたいと思つた。

以来、四年生・五年生と続けてきた。四年生の時は、クロネコカップに初めて参加し、緊張しているうちに試合は終わってしまった。予選敗退。子どもたちは、試合後、落ち着いてきてようやく悔しさがちよつとわ

返してやる事が多くありました。しかし、小布施中学校は、学校重点の一つに合唱が掲げられており、毎日のクラスからも歌声が響いています。月に一曲全校で仕上げていく、月の歌というものがあつます。全校で同じ歌を練習するので、一年生が音程を取れなくて困っている、二・三年生が放課後の学活の時間に合同で練習してくれまふ。とてもありがたいで、一年生は二・三年生の歌声に感動しながら練習しています。また、音楽の授業で練習した曲が放課後各クラスから聴こえてきます。毎日歌うので、一週間後の音楽の時間には、上達してきてくれるクラスが多くとてもうれいす。

九月に行われる鳳凰祭の中の音楽会は、毎年大変盛り上がり、同じことを繰り返してき

いってきたようだった。五年生の時は、二つの大会に参加し、J A須高大会で公式戦初勝利を収めることができた。初めて勝つた喜びは大きかった。

今年、六年生となり最後の年となるので、みんなで頑張りたいのに残るものにしてほしいと話し合った。クラス単独でやるチームなので、大会ですばらしい成績を残すことは難しいかもしれないが、「頑張れた。楽しかった」という思いは、子どもたち一人ひとりの胸に残すことができる。

保護者も大変協力的で、ドッジボールのルールやけがをした場合の救急法などの学習会を開いている。六月には、お父

編集後記

聴く側が一つになり、感動的な音楽会を作れるように日々の音楽教育を進めていきたいと思います。(小布施中)

日々の生活に追われ、竹内整一先生の「今在ることの尊さ」を意識せずに時を過ぎがちですが、先生方の一学期はいかがでしたか。

- お忙しい中、原稿をお寄せ頂いた皆様には感謝申し上げます。本年度は、会報発行が二年、次の委員でお届けします。
- 委員長 朝間 春子(小山小)
- 副委員長 後藤 昭彦(豊丘小)
- 委員 森山 裕士(栗方丘小)
- 清水 幸子(須坂小)
- 児玉 明代(日滝小)
- 瀧澤 幸治(仁礼小)
- 坪井 香陽(高山中)
- 松澤智恵子(東中)